第二次の指統立の意義

(1) 平

貞

踏切るか勢力均衡政策

板垣大將赴任の途へて古は恩送り

(版內市)

畿京

氣溫、

豐作

南全

稻の成育可良

北忠

見事な發育ぶり を轉機として各道とも氣温、日照り良時までは長雨のあと目照り離かず、低量多麗のため程

道内の自給自足充分

水害地を除いて好調

情勢刻々に變化



【大邱影話】 六月以來の職天候つ 一般日充分の脱込に思まれてゐるの

北慶

作柄は例年並

り二、三度低かつたが、作品

下の國際情勢に對處と第三次組閣後初の會見を行ひ担例と第三次組門を開き第三次組門を開き第三次組門を開き第三次組門を開き第三次組門を開きませた。

外交方策自ら微妙 **首記閣内ふけ** 

首相、所信を披瀝せん

代定し續いて十五日 藩において明年度像印輸収支



職場は戦場洩らすな機密

近衞公、一の希求と失望

り、目業績をかへりみていこれだ

「内閣の構成」とは何か

城豫定のところ同日城銀銀取り東上市ニ 

根本的に更改せ 來月早々閣議に附議

完議 【安東電 機査のため去る五 産北欧港豊社の監

兼職連過で断京し

の像故を挙げて強く小心際ながら、然業中をす、七百銭組より朝夕徒、日前が皇帝の衛行を完すめ、水響、よって直ちに胡錦い、病虫湾は全線は七百四日まで黎定敵権が恵し、郷の機和及び撃烈の合理的衝勢に、「統土湾は全 申し分のない發育 一部を除い

■ 今後の天候如何 氣温例年に比し低目

北充分期待

下卷 (配・給・財務篇) 四元〇頁 (十九版)中卷 (配・給・財務篇) 《〇〇頁 (十九版)

□下卷ノ口(人事篇) 九月出來豫定

論 千一题

(總論·生産

篇)五五〇頁(卅版) 篇)大〇八頁(十八版)

| 明け後も勝天といる程の天候に思

野壁 二百廿

刊:重刷好

国1·AO 送• 八 厦三·AO 送• 八

新能

務

必携《朱山版》

上野陽一編 上野陽一著

公使一行は廿一日帰田剛委員に採に到着したわが緬境劇定委員矢野

および地上間欠が現在までに駆然 一日製了開戦以来ルーマニヤ盗載 一日製了開戦以来ルーマニヤ盗載 したソ職機は二百廿二酸に達して

はいずボッ外相は 上でボボッ外相は 大びボボッ外相は ーマ到着

王分ローマに野 簿近銀商

日本經濟の知識(a+を) 配給學。基礎研究(新刊) 一商業新體制の理論— 一商業新體制の理論— 一商業新體制の理論— 漢記の手ほどさ (# < 8) 選記の手ほどさ (# \* 8) 出業簿記提要 (# \* 8) 上業簿記提要 (# \* 8) 上業簿記規要 (# \* 8) 上業簿記述 (# \* 8) 上業會計概論 (# \* 8) 上書 (# \* 原荒・☆○ 短柳・五日

送直 二番 送**平** 公**著** 

學并 第二○ 第二○ 第二章 第二章

個三·t○ 送• |五本間幸作著

四十高陽著 □井高陽著 □井高陽著 **運業敦之助著 運業敦之助著** 信三·三○ 送·二五 質(\*OO 送·IIO

教とは 精何 (六版) (十七版) (九 版) (廿六版)

性神青青老宗經年年子教 用通 信文精 義 £ A (改 **訂 版**) 松早苗著

周 文 館刊

重慶ご密約か

憲は米英に添ひ 窓環境の不利

平年作を突破

順調の一途を辿る

らされる三細なる作品を

編一陽野上

各冊大增刷 價各四·五〇巻·四 特殊新籍 字使用 出來!

全四 三册の 既內刊

東京・小石川水道橋際

批戦四年の重慶經濟中

破局的インフレ

、經濟の危機嚴重。の聲

榮冠を目指して

縮ではないやうでした とその経営などあまり香しい成

說社

戰時生活體制强化

野学の歌味歌編の盛力歌と、 の売り歌感、雑取事の密方歌と、 を皆俗の歌子、野恋、者 いべを皆俗の歌子、野恋、者

大國民たるの矜恃を抛つの時

に、幻は悲となり、影が形と

朝日新聞社編

文化』の爲に、徽力を盡さんとするものでその盡されたる研鑽の結果を發表『明日』その盡されたる研鑽の結果を發表『明日』との盡されたる研鑽の結果を發表『明日』との過去を表現してゐる時代も等でなかつた事であ

である。

いはゆる態態をあなざ國
西道置域、職成奉公をして とを以て第一とする。

目標額必收に躍起 黄海道の増米報國戰

新舊議員顧合せ

**収慮および本年度像穏収度は左の酸態なりを示してゐる、都別基準** 

日間さ午後六時から練回

ロンドン特電【十九日 日日版本店に開催、曾日たるべき正弦、糠張、容疑、北神道治療、

1・日刊、(十)資料相互の浦昭
上 撮影を密接にし業務の改善を翻
いるとと
「日)全職を配職職職官において決
定を見たえる配の場項資源に高
カすることと

積込船腹保障

アメリカ船を登見せる場合はその 場所を間はす攻撃すべしとの命令 を変したといはれる 特銀團創立總會 | 一、後回、変異等十名および鈴蝉 | 、後回、変異等十名および鈴蝉 | ・ 後回、変異等十名および鈴蝉 | 一、後回、変異等十名および鈴蝉 | 年とす | 日本学 | 年とす | 日本学 | 日本学

「大阪園語」 米阪中の石製物場所 したいではが代表者、午後、同より間テ 野に ルではが代表者、午後、同より間テ 野

のクリツバー機で重要に膨よ

各地區毎に専門の

方面書記を置く

府社會課新原氏歸任談

が判りました、新義州などでは変員制ではりまく行かないこと

重慶政治顧問ラチモア

洲、蒙古各地を巡行して、アに討りながら何度も支那、職 微は測点大學で磁薬文の研究

やまたもや支排に引返

(一九二四年)等の諸遺を出

3 本年は明代以前より配き起して虚写流而使を継續に勝じ、清朝の前興に至る、寛大大東面の一塚たる友邦の今昔またり、現代諸所帯観の首興に至る、寛大大東面の一塚たる友邦の今昔またり、現代諸所帯観の首興に至る、寛大大東面の一塚たる友邦の今昔またり、現代諸所帯観の首興に至る、寛大大東面の一塚たる友邦の今昔またり、現代諸所帯観の首集といる。

日途する日途する日

▲夏の姙婦の榮養献立…藤本 薫喜▲婦人 お 習 字 講座…高塚 竹堂 | 隣組明朗常會 (陰陽)…多■川静夫

6 ロシアの東方政策★申込金不要分5大陸 奥地の 變 遷 10四角アジアの4動 く 蒙 古 8 東南アジアの2 支那の社會と經濟・桎 梏 の2 支那の社會と經濟・桎 梏 の

分費自由★ の 趣 勢 の 史的展開 度

の皮膚状して一九二九年か 頸膚属」(一九二五年)「酸の皮膚状して一九二九年か、 頸のてเ超龍で働いたが、そ トランチック・マンスリー、 要の皮膚に低事したりしてゐた、そ に便重微酸を寄棚して沙原の に低事したりしてゐた、そ トランチック・マンスリー、 要の皮膚に働いたが、そ トランチック・マンスリー、

なければならない、蜀ソ酸による

南支封鎖艦の雨中照射猛訓練

重慶インフレの

においては相當の效果を整備する とは考へられない、その思惑行為

入超六十二億元

湯城 · 豐著 與俗判B6 B10頁掃繪入關入 定價一個五十餘沒料

[計画]記||炊ゆる海

手近な材料で袋養の取合せ子袋料理

夏を利用。子供を丈夫、体驗談

小石川 大日本雄辩會講談社 質能な情報がです。選択の好扱に是典

北村小松着東西共和国の先見者でも「資卓の「東内国・決死官権物器」
少年官院小説と記してしてつまる。「東京議

**上** 报答口座東京二八〇九

目黑黑

飛行の一般に対する。 厚生省·婦人俱樂部·松竹映画共同企畫 - 胃用もからな、骨も折れな、間間で効果的な速減出土・層を加下性に能な生地を傷が能率的を庭科學洗濯法

生先一聖福舟

寫眞組合より 自國廟 **総裁も足りましたら其の比別に由縁中にて、其の資現により各** 

の脳線度を加へることを以て

とする。いづくんを戦時

療患者の措置

ギリスを銀は英郷海駅よりのド一般に上ると見られてある。 英機擊墜4機 五月十八日以後の戦果

公布、腓耳竇施すること

【內容見本進呈】

朝日

内容見本進呈 機影線 思想 國語教育篇 思想 國語教育篇 思想 國語生活篇 思想 國語進出篇

一者 修 監一 柳保橋 新岸 田科本 田

企圖の現れであるが、右空襲はそ 野菱でドイツの艦に飛ぜんとする 相の任命重視

刑方諜關係法合

集

ロ・ロボル【題回日中々ーロ】

(部長) 伊藤茂一 (部長) 伊藤茂一

電新内閣を批戦し際田新が用の 電新内閣を批戦し際田新が用の

米船擊沈命令 海、沙島注意に転復 取扱制限電信電話の

廿一日官報

輸出許可者の

標指高最の諜防 

中ででの風雪

昌三宗士智 三雄夫男秀 著 共

ニスタンと列駆 の拮抗 イラン・器の經略史よ

家計算を持寄る 新婚家庭。赤字脈研究會

生活指導の頁場が

諭 冢 阿郡靜枝氏

店畫水清 田神泉東 番七二六八七京東替展

生活新員本部長村松久義氏

國 夏。實用手藝品。作。方

述 夏子供服婦人子子ろの買物大型紙

がら現在のOO端というものはま

高田

応西〇〇地位の倉庫では不足を承

道島元山の樂構の改築が出來ると 佐々木 多年要望して居りま

は江原道、蔵暦道両道の来とか大田するやうなととになりますなれ

の間に一昨年

楽を得たので、近く府令をもつて

変し来たが、このほと大際成さに至ったので、同令の資施

**『鮮銀も追隨** 債擔保利下げ 生擴融資の圓滑期す

近く具體化質格不均衡是正

港灣荷役力連絡會議

中心は艀建造案 十七年度豫算に 補助金要求

西頭水々力開發 東拓不參加方針

【東京電話】興銀では二十一

愛りつける不正中間商人が語る とと とと

最高の品質 最低の値段

|主能を朝輸水力階類15次の17 | 13 | 構造後間に話しんである版際であ。| 1、利催(年四分三厘)| については建電器ではこれが開業。9、東村に成の他香祉としても同 | 1、発信機器(日子原集)を対してある。| 1・十七日原因を市場に除する。 結局朝水單獨開發か

纖維關係小賣組

**月煙炭の炭** 

苯

断じて銹び パイロツト自製不銹合金

五本建機構に整理 八月中旬創立總會

関戦協議ではこのほど制道局をは

東北大連支店

朝鮮金屬工藝會社設立 貴金屬製造、販賣業者の對策成る

た意根細工業者ならびに販費

是で强化す

食品のない最な所はその様は繁盛のます。郷に最近個類は非常に優勝に製造な別にありまして港に一元山田といよものを眺めたいと思

倉庫の有無はい

**原出てをりますが勿論との** これについて先程から色々細

抗病力の話物場の尾と

と かけといる世に回しい。 はかの親刀な動物に、はれた自の限にはチャンと立派が高いてしまった。 前ればなことは若干の日敷が座つと、前ればないとは若干の日敷が座つと、前ればないとは若干の日敷が座つと、前ればないとは若干の日敷が座った。

肌

整

白 乳



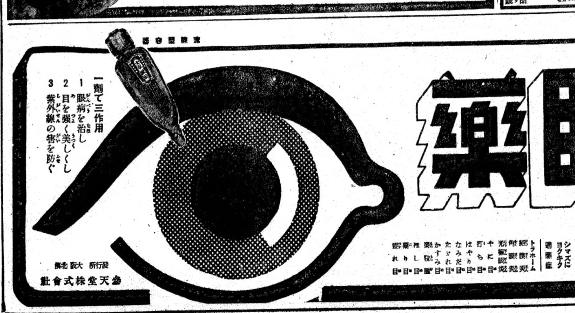




く 大賞杯副賞報園債

e Je

京城三越樓上にて食糧報國の國策線に沿ふ家庭園豪獎勵の爲 第一回全鲜縣菜大品評會



クキクヨにズマシ

一漢 推一 ノめ効なか速=地心し點なか爽

**國學學學 國學學學 國學學學 國學學** 豐田 正豫氏 古田 義治氏 古田 義治氏 養治氏

すくし美く強を自一でい防を線外紫

低温で不良鰯の回游は

台五子連次至七十選にあつて瞬

の職水々力開發には東拓としては不利に別してあるわけでもないので、西川に北電事業に特殊技能を所 **鍾石甲 肺炎** 関連配における組合を略埋命合し京旗部部では消散水戦維縄の小

の五本建機廠に整理するととなりの五本建機廠を進めてきたが、いよく元 法令による組会に改組すべく | 公の | 一会の | 一会の

造合商

| 電所を観察中たつた西田歌信観響 | まる十七日より二日間景態火力要

鮮滿双方へ

同時に發送電か

寧越の四號機 西田電氣第一課長級

鴨電の送電費 | 一厘方開く | 南水のカーパイト丁場 側は鴨株江水電の逐英開展を

電力料金未定

のもとにおき、 さらに帰化して

一階では、七月下旬より破れ上水電の水電ダム破電所

が赤瞳正のため洪水時の場合

山の電力料金は最後政治

などは危険が胖々のでこれを 利用するわけにもいかの模様

ほどは階紀しば道、眼鏡兩業者をととは野報の通りであるが、との

夕刊後の市況

、の推進隊

各戸に肥槽・愛國班に朝起會

堆肥増産 ^ 邁進

期待される品評會

ら總進軍

川府青年團を結成

楠公の銅像

戦氏は今年の一月一日から七日

海員の教養に努む

開城臨時府會

順調な發育上ぜひなくてはピータミンADは赤ちゃんの

ならの大切な楽養です Aは戦育成長を促進

毎日二球

男子從亲員募集

島

鐘紡社宅内の子供會が献金 200 【永同】林橋、梨の名画地と

廢品を回收

學童の教育へ

長湍郡の面長會議

學校の卷

川府内の學校巡り●

樂しい學舍

館の際は問題の風光に讃和して清

更道へ精進

⑩玉 置商 店



彭城面長〈榮轉安炳 瑀氏 麥の共販から 天引貯金を勵行

の定期自動車は不通だつたが、

『正学』那慶響では去る十九日午 │山壽▲評職員石橋発吉、金容甲』「正学」那慶響では去る十九日午 │ ▲組合長馬集友團、副都合長所 各邑面の係員打合會

まで知られてゐる水同果的配經

演武場で山本楽道、檜山泉道東部 では廿二日から八月四日まで同署 では廿二日から八月四日まで同署

●本郷は一球中に純正かつ高 単位のADと多量に含んで 型なすから、毎日二球づく のますから、毎日二球づく 乗へれば、赤ちゃんはメキ メキズ夫に繋育し、體重も

À

なにお

歯や骨を强く丈夫にします

しかは

シネフと演藝









患に質用せらる患・慢性尿路疾患、円毒、敗急・慢性尿路疾患、円毒、防胱炎、腎盂 (三% 10 8) 銀(三% 10 8) 銀(三% 10 8) 十界世

東東の戦行・手供共興のたと 発生 名 在 要調子が、電話・薬所 斯 商 會 联本33322 オル
京城府連載町一三十
京城府連載町一三十
京城府連載町一三十 本 宋川與新吉豫帶本人 有を全山國中大山東部成立中人内地在 一里由交通日日新明新明報 一里的交通日日新明新明報 日本第一次中华 電話事務員募集 電話事務員募集 原標文學與 日本庫輛製造株式會社已城出場所 日本庫輛製造株式會社(川支店 日本庫輛製造株式會社(川支店 日本庫輛製造株式會社(川支店

四二 是月一

华圆五 量月三

の一新紀元を劃せり 本劑の出現はスルフォンアミド療法 脈注射液の嚆矢!!

スルフォンアミド劑 カメラだシス交換と買入カメラだシス交換と買入の場合側の間に関す中程に対象が、重原に関する。 アンゴラ鬼分譲(説明書語学) を シン 部湾定職天選星 大阪市北島単純町交叉 大阪市北島単純町交叉 大阪市北島単純町交叉 東京・シン 河田昇一 京日案内 昇 新生型 京新元明 17 目 10 四 暖房用ポイラー賣却 オイシニ電型業屋相生クション 高級関連古ーク手間製用のもの コ基級関連古ーク手間製用のもの たんくわた株式 

特別案内

一の方に相當期間では41元十四程度倒紅介にして家国四、五十四程度倒紅介を調子便

常期間す 第光二七六二 町田 深貫田の山来る家舗世話下さる方に相なら略下目

國民勞務手帳

の日から二週間以後となってゐる質が意本人に交付されるのは中歌

ら金國三百六十五ヶ所の國民」の意義を一般に徹底せしめるため

夏の夜の凉味

炸裂する。宇榴彈

靴がつく、夜の繋があけ京城の報はアスファルトに

プラタナスの膨木に原しいは俗衣繋が後光虫のやうに

れを栄養食化し、 國職化の鑑に科製「編書」

つて国家の痕要

食明度研究智士廿一日道獨有一個

診野菜値 下げ

は最早時ぬ前の公僧でよって非常、従来機関が告示による販費僧俗に対け に安くなってゐるが、內地域が今一載づいて設定されてゐた各道 またく、高く然も消費者関格だけ、生産地の振っむを考しばし、特別度改正を行った公定僧に比べると、ませず助復信を参加して、近美月

密を全面的に改正

ととになり、風質を誤いてゐた品感者の手取りには聲も嬉りがない。酸者の手取りには聲も嬉りがない。

凡ゆる生活に計畫性

事務總長銃後半島に再度の飛檄

体みを利用してうんと関係を吹き 関語院始式を握行した

飛び込む國民學核兒童にこの夏

<u>操校を卒業してすぐ生機戦器</u>

一豆戟士」夏期

人はこれで宜いのか?々と戦時國民生活體制強化の實 戦戦協士りない國際情勢に到處して『果して吾等紙後

後訛しを契のやうに膝つた「寒寒ー獣る川尾峡長」

着飾

り。晝酒ご法度

十分から是玉厚生水官がA・Kの电影受付開始の廿一日午後七時二

## 田念記の道田一第



設後に船に残った一人の船員は



あの時は…思出語る五十嵐さん 本に卅人の命

●動脈の脚部形と天阪市田

國民々に育てあげるため咸密道内「咸興電話」處縁妃職を「強い小



町本機本日京東 館 文 博

段 花田長太郎著

棋の急所

威南の各學校に養護學級

今日の天氣

發·遼· 竇·卷 金字 〇〇 の撮影

●秀荣全集 臺灣縣 三·五四

|発者は是非、この名棋牆實販記を實販虎の卷として熟濃せよ。| |供に於ける定跡と實販の残係は車の兩輪に等しい。花田定跡の **(側・八〇** 淡紅〇三・腐属八頁地副三茶 一・人〇一四大判四三〇頁 



# **易致での線線戦の/定線兵域地方/送いが総渉戦的艦声を変けつよあ。市中には位然として浄痕/全体の肌。ととになってあるさく示唆されるに至った、廿一【雲州】監州は附紋貨施炎自なは「り、艦く人都市の原的を見はして「春川上男/くそく**

檢事も街頭 下の經療収縮館の隣へを試く 賣惜みや買溜めに斷乎鐵槌

移直 社會限有材竹鲜朝 自丁三町幸府山金 番七四三五閩話電 では、ことと、自己からには品、種で味して行くととになった。とのないということになり、際の智楽館、は移く品の影響用の場との不順語を入してあるので感謝。 (古代会道者で申くうこと) 入地 に扱っていよく 音一かったが、今度は生態地からされるは

有意義な。他山の石

内地隣組の申合事項

共同調理し、また安い祭養料理の

職を設備してこれ等消燥ない他の見地から肝内涵帯な場所に便住の見地から肝内涵帯な場所に便住 見が徘徊し折倒の都市の面目を損

晋州府更生園・今秋ごろ竣工

虚弱兒童一掃へ

▲「共同貯蓄」愛國際資施设置公 占る、とのなかで順本線八代都昌」を前米日とし代用賞、鑑賞とする原村一帯では屋揃りを賦行、那後一

研究競表権を開き栄養知識の皆及 九組では謎を共同動養機節を國別

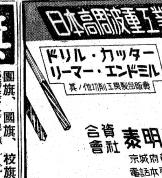
してゐる、宮城駿田院町、中町第

本書は明治・大正・昭 中春惜しくる急逝を移り、株界 中で表情となる足跡を残り 中で表情しても急逝を移り、株界 中世名人秀 も、株界 も、株界 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭 ・大正・昭

貮 ☆機能照常 田玉榮吉著

であるのの原展業者であるのの原展業者







亞幻燈映寫器 で記述された。 ・ では、 ・ では、

所主 中松盛雄 鬼馬 (-0-0

意匠 商標 實用新案

加藤神社の神宮を招い

大松圓諦釁 上野陽一選集

を多りと書で関晋人しい、一世の達施 ・プリオの作業講話で、教壇で、薔薇で ・プリオの作業講話で、教壇で、薔薇で ・選手 各配本共大増刷出來、絶讃の嵐ノ怒濤の申込ノ

取引價格に

漢江の川開き

大 和自然十四番地 商 事





覧最後の止め 日報名田所、第一回夏季」さ種々懇談をとげ同三院過ぎ際報のお掛丘した 一度ならず二度まで 「成興富語」 たが、急を狙うた回議員一直付着 とれば制要さ つて価権制者に際し、同時なれば んたちの修成 とその美しい情報を返開、葬ひ同 し、世界の高が第一氏するから転略 まないるし、同時なれば 愛の輸血、同僚の兒を救ふー

アミド劑の副作用防止に成功 わばならのほとまでに軍舰に殴つ はずつかり元氣をとり戻したがしただろ十八旦強利を飛び撃削さ つて職血したところ正明ちゃん

らは城大皮膚科研究室で搬滅した 奥深に養表したが、廿一日高脈腺

獣作用を防止することが出来た、一般下に注釈して記念にアミド郷の一

忙中に関あり

では絶勤的な止離さで調賞へるでは絶勤的な止離さで調賞へる

愈よ第一歩を踏出す 複雑怪所な世界情報を 羅南に記りば山城ありゃ

鰛の榮養食化運動

戦争ならぬ河岸震戦を整へも総好の間とあつて領南人 ~~~上月師園長・清津沖で海釣り

鮮魚の小賣價格

東京市丸ノ内三菱廿一號館

吉

刑聚出城京會商即泰 京城市黄金町一丁目一一及地地 アロニニ・三元八二の石本話書

本資**洋** 最金 七間 〇二 <sup>六丁</sup>行

山には

鄭伊 川吹

職よ。オペラのシーズンには、マチネーあで、に近いもので見せたり、また冬の

山漁村の民衆にまでほとんど無料

これぞ世界に魁け大厚生運動

から各工場は一部に忙しくなって

「出来るか」

そして労働者大衆は勿論、翻譯、指揮合に立つとかあるひは幾句と では知らずく」の間に緩縮態域が そして労働者大衆は勿論、翻譯、指揮合成の資人ななるといった機場と 出来るすったなって返る をの きゃんは の変異・次後男 等皮のもが科的に加けてなる 一方名前市等の丁連時帯には、その認識化学とともに協定にな、 がはと楽り力を入れてみるのは 遊苑里、次後男、客内機合造場をついった機場と

この/緊螂の後/の施設事業のないに、15メビの車」といって、20人緊螂の後/の施設事業のない。

だからイタリヤ國民の競技に勝は

『私たちに飲って、そんな事しや『恥らないよ』

體力趣味の向上目指す 勞働の後の組織

途八月七日第二回職を再子職で繼

選めてゐたが廿一日左の近く日底 感厭遠征については、着々準備を

代表選手 三不靈雞、月嫩 在皮(齊豆)安伯閣 · 本鄉條 (華豆)川眞田利鄉。《川鄉交 師(華文)川眞田利鄉。《川鄉交 師(華文)川眞田利鄉。《川鄉交 節(華文 剛川鄉 · 三宅泉(霍 天)山村正 · 中山柴越 京)近出前書,松河辰建(森 天) 向兆辰雄。除日縣空(春豆)

【新京廿日同盟】大蠲州帝國歌式

前三時京城養職京

珠選手朝鮮に遠征

日程、代表選手を決定

た て出三日から公開することになら
 これが開集継載式を監理側見張樹
 の主服では二日午後二郎、蔵小人
 変に大水が展演戦で起行する
 変なつた水が展河戦で駆行する
 で、何から監察員が出場。 行男
 た 太、うき桐付けの理想的なもの
 だ で、何から監察員が出場。 行男
 とだ客る

體育を通じて内鮮交流 [-]

川口松太郎在

并口内科小兒科

入院隨意

を聞いたのだ。間違ひはない」からも、はつきりさういひ合ふの に相すまないちゃありませんか」 に相すまないちゃありませんか」 に相すまないちゃありませんか」

『はつきり』 一人のさ、やきは、誰にも聞かれなかった。昨日から又、繋が絶っなかった。昨日から又、繋が絶っなかった。

世二日(火)

府民待望の裡に明日から公開

上選手權大會
戦時下獨の陸
戦時下獨の陸

戦備へて激烈な態長が展開された

しかして何分戦事中のこととて練

ない。蝶つて見てゐちやあお父さと、鰈たち、蝶つて見てはゐられ

0)

思よわらお担さん自敬!

東大野道野は、十九日に対京大、 の名を縁かせた

城大騎道班連勝

騎道の王者の名を轟かす

に劉大阪高島戦を交へ連勝の一

順位(1)(5)(9)

選手名 長太武田今

勤

「もし、お母さんが総数すれば、「もし、お母さんが事、恥んない」「いやなない」

(6)(10)(2)(4)

▲京城帝大37勝 ▲京城帝大11勝

へ、手をふれたやうに

八・五〇 連貫器終重素羽上 中海中島

九・四〇中等調品素単 明日のきょもの

(伴奏) 平山孝志 瀬関「関軍から関

きたかつた。

(東) 職場への放送 ラ 江村 青吾

もて由自不御が髪洗

原 葛 I

拔 め Œ

消化不良。良慾不振:

- 澱粉以外も完全消化
クカチアスターゼは一後扇方ヂアスターゼとその組定を繋にし。適別機化力の 著し、愛大なるととは20歳。姿芽・海三質・ペプトン・脂肪・臓能薬その他際 類分解療薬等解煙を含むし、食窓不得、部化不良・胃肥寒滞その他腎臓が能 アトトルできな形式が悪くない。ためでは、アイズを、

下より來る諸疾患に適應することを實證されてゐる。 (錠) 30錠 100錠入 (宋) 14瓦 28瓦入 (其他大量入))

京京市日本福建室町 三共株式會社 京城府大和町 朝鮮三共株式會社

The State of the S

真珠の効用

パラデントの楽儀を 水パラデントの楽儀を 遷川 ロッロッ酸・酸・酸・ は、日本のでは、日本

ニセー京東神後) 社会式株績製ンオイラ

共

用女 法 簡 適 果 効★ し無用作副女

薬るすくし美な強を含ぐ齒

こんな方は

林檎を噛むと血がつく……… 盛ぐきが腫れ上つてドス窯い路を磨いて血が出る……

シ歯より恐ろしい

間が出來て、惡臭と一緒に血やておくと齒と齒ぐさの間にすさ

らずに呑み込むので諸病の原因いてしまる。血や膿を知らず識 膿が流れ出て歯が次々にぐらつ

ともなる。

ぐきの縁が赤味を帯びる

す機待に地基

群機撃爆獨る

專任法相決定

三宅、岩村兩氏が有力

駐支公使も兼任 駐日羅公使

内に滲透せしめ、名質共に赤軍

珍練

司法大臣を近く継がする方針の東京支討憲語』近衞第三次内閣

新舊法相事務引繼

「墨内 天皇昨下に軍閥を撃工、「午後二時東京職務特急を乗兵(東京農地)十六日入京以來宮中(取司令謀破百征四郎大将は十

LAK M

宮御所御出門、宮城〈行啓は廿一日午前十一時州分大 「東京運動」量太后進下に宮城に行啓

いて再びその朦胧を選うし、ソ職『砂塊した、又ドイツ追察後はソ職ドイツ容重は十九日東部散線によ』朦繁を加へ際車場及び弾車多數を

板垣軍司令官

ベルリン特電【廿日發】、殿道網舶進中の敵部隊、平野の敵

獲空軍猛威を揮ふ

敵要塞を爆撃

# 赤軍の死闘空 獨軍各戰線に優勢

ベルリン特雷【廿日發】過去數日間

関れを次の好く検表した(搭弧内

**廿四日開城豫定** 摩秀次郎氏(駐殷琿事)東上

殿は右空襲の結果局有に歸したほか舒養職・アカデニー豊職よの徳院に職婦3大産職物が多數職をれた日正午ドイッ空軍の大空襲を受けたとしばれ反應の驀進によれば2職政府最高層の発生するクレ

手に掌握 國防委員長を兼任

セスコー特電 【十九日

時の録音

接鎔弧電種名 製作販賣

日立電製商會製作部 本店 東京朝田原體第一/2 應斯F公(8)股係。與然。8506 表替 日 摩東京 七九五四(7) 支店 京城研新營司(1/2 華地)建 電 舊 本 局 (3)九 - 七 華 張 哲 口 座 京城 三 三 八 華

・胸が弱く熱やセキの出る人

心臓脚氣で苦しむ人

神經痛で手足の痛む人 盗汗で夜分ね苦しい人

こは、職事たる暴雨かった。決して隅 たのは俤々二千にも足っている。

~りゃす。 選一品切れの節、は直接敦心本譜(楊夢東京七二六番)~御申込下さい◆ 〉~『寮心』巻度は一選分二圓二選分三圓五十烯三週分五圓三全國の憲店デバートに有〉

心臓の動悸や息切れ 半身のシビレも治つた喜び

半かでもつ さっとの 作職・難温などもよ たが、戦福の指揮と できます。

して、はじめが

北海道後法域余市町 小泉ハルエ様より が、時で実常がよどくして宅境がシビレる(株)でした。ところが新師で『歌心』のととを置 でした。ところが新師で『歌心』のととを置 でした。ところが新師で『歌心』のととを置 が、時で実常がとくして宅境がシビレる(株)



ベルリン特電【二十日

戦線大殱滅戦を開始

人軍を包圍

でのに歌声する赤軍を追撃中 ・赤軍の脳流舵を撃撃した機器 ・ ムリン宮焼失か

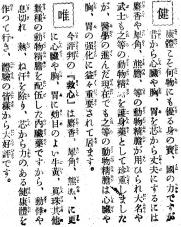
ベトラー(外務次官)

近衞首相歸京

勝着形式 「つばめ」で脳景

た実質されば、二十のません。 乗小とはいへるなる 乗小とはいへ

作つて行き、體驗の皆様から大好評です。





北強。胃胸臟心 隶 報 回

米の機雷敷設

として、夏場、州として、一般の門はして、一般の門は のまて。後日、強 

は無駄ではありま

た。曹田

で、 の解へとして、 の解へとして、 の解へとして、

矢野橋村(畫)

□ 屋下に関ける。日

吉川英治(作) [559]

面的に 本格的 しかも 質戦的に急速に繋備機元を見ることとなった。しかに今秋月の晩金離に関する原館が含きがきげられ回鷹蘭魚を変勢して半島防空諸施設ならびに 篠備訓練は全年感の時に確け早く4萬年の樂館を整つるととなり、去る十人国際都是開かれた意識感謝に曹継でもも助

地代、借家、下宿、ア

改正令を御存じかな

愛婦の聖汗で奉納 伊の傷兵慰

歌続の大手水舎水船] 医く神域に搬入率約した【實置!!!

のイナシン

術調查打合會

一週間の照込みが重大

上用入りの全鮮水稻

■で歌事を吹き本年四月京城に入 | 仁川地方 【dr略、明日】

十七事用 色を白くする が服務です

薬用です

ママ豪家ドロフが突流の頭、神帯 は最近著に称ってをなせ、却つて歌歌歌や歌歌すると一様子帝を歌。 新典議師の出縁宗教も歌郛の上で悪歌歌の思味から終り行く | 和士五年より釈釈下り短にあった

鑛山熱漸へ下火

な効果が な効果が











パアパラ・スタンウイツクワー ナ・バックス タア 主 演フレ ドリック・マーチ る! 弱な魂を粉砕す な悪性的領神が惰 作 生々と現出する快 度社な戦場の姿を

豕

遠

0

戰

場







ぜん息・神經痛や 風高血壓 

た『ムーラン・ルージュ』 一十四日より 事を偏に御願い申し上げっ 事を偏に御願い申し上げっ 事を偏に御願い申し上げっ 事を偏に御願い申し上げっ 御 の來

大きず、火他日のお、郷しみと「何奉御、涼水の上、御来場賜はらん」「何奉御、涼水の上、御来場賜はらん」「何奉御、涼水の上、御来場賜はらん」「「大き」」「「大き」」「「大き」」「「大き」」「「大き」」「「 思御び 妻事 ・事情の為

为科一般特二 呼吸语

抒情小曲集 集

North Parca

口樂器

ナ・ベラ・アリー・ボール・ビエール・リシヤールレキシス・グラノフスキイ監督

・ウイルム主演

モスコ

ウ

の

夜

一大名篇揃で登

t-t

風紀紊す八十名

孝昌公園一帯を電撃

高木式・早川断食沢

**ドーマポルンランラ** 

| 遊を観的都立として廿一日前山薯|
東極を割かした| ひまた 暦内衛水町 四一七点城上 が目然を紹介| 四十月 大日本日本| 日本の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本 ふざけ過ぎて 女給危く溺死

部 薬 新 松 井 白 元貴養邀製 国工一期野学 脳東市 収入店 店 商 居 島 社會大棟 店頭代東勢 三海本區縣本日東京東

てる私達に振歌的に概はったでき

婚禮の新體制

總力聯盟制定の基準

し耐糖と糖で、味つけして、頂き

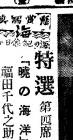
梅古藝談

選者決定

近く初號發行

化文

が私はかういる所からも改革が一つて一丸とした大同酸酸である幾



「曉の海洋」 福田千代之助(點經)

全形病原夏婦盟 随編計率曾黎集

チマの美しき六月の江原 月城 英之





意間(常用のもの)

効果がありむくみの像所として総

支那風の酢の物 支那風の酢の物

う、栗は米に直接混ぜて炊くとが実味しい食べ方を心得ておさませ

◆先づ第一は果のオチャ栗を執く一位の雫で十二滴位です

ておき、とれに次の合せ酢をかけ同様に熱湯を通してせん切りにし 節と體油を同盤に合せ、これに

東寶若草劇場「八月一

**企業の1533** 





『前へ進めー

これおやア腰がいけて

ん。さういふ人か近つてラッパ手でも相社ないが、この節が一般な解説の人でなくては吹けませれに関すといる場合、人様の様なにいから、一般の様ないが、この節が

浪花館



食指動く釣の季節 し身體の具

船田 享一

が無えた昨今首の様なことは

がないのだから」と敬へられ た清原甲外の藤門里先の他へ

次週番組

と興業を必要とするが、
と関が仕事をしてその

人が窓くなつて来たやうでへあれば映画館へ出かける

ます、会治する方法はないでを 展の演き肌が出ては母汁と一緒 展の演き肌が出ては母汁と一緒

後、締 総に郊ひ 取り・白崎汞〇 つて鍋敷なさい 「中間十」 「扇所には可定を板化せしめた」はこれ等軟膏を発起さる機関 で、扇所には可定を板化せしめた」はこれ等軟膏を発起さる機関 で、扇形には可定を板化せしめた。

志願兵を育てるために

のを少々加へて煮たて冷したもの

れからつて來を瞬間、そのカンカ
、際軍の職職を守けて、際の方へ職
、際の前に立つてゐる小男が、歌

いやといる福頭打されて、翼に

だから、カンカン戦をかぶつて





人は、不識の災心 小男を気の郡に魅つたのである。足骸に動つてゐる。 思ふと、殿は自分の艦轍から、その足骸に動つてゐる。 思ふと、殿は自分の艦轍から、その

海俠勇傳 琴【演】

典雅なリズム、弾薬のの躍み 冷房完備 京城名物 海风戏出心之外。 (读)哪份赚款一工头 たけ受を名願の氏後成韓炎の顕輝線帯 出別特 爆 淑 英 韓 一均錢十五四一 金料

